## 京都大学On-site Laboratory「無機エネルギー材料」



## 基本情報

- ◆ 実施部局:工学研究科・エネルギー科学研究科
- ◆ 相手方機関:ボルドー大学ICMCB・ナント大学IMN
- ◆ 設置(予定)時期:2025(令和7)年11月
- ◆ 設置場所:京都大学、ボルドー大学ICMCB、ナント大学IMN
- ◆ 設置タイプ:クロスバウンド型
- ◆ 設置目的:革新的機能をもつ無機エネルギー材料の開発
- ◆ 教育研究活動内容:京都大学とフランスのトップ研究機関との間で優秀な学生と若手研究者 の交換と教育を促進する拠点の形成

大学間学術交流協定(2014~)

3つのオンサイトラボ

・日仏若手シンポジウム

## 期待される波及効果

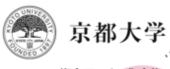
**iemeb** 

欧州固体化学の中心

フッ素化学で世界トップ

- 日本とフランスのトップレベルの材料化学研究者の 共同研究によるエネルギー材料の技術革新
- 若手研究者、学生交換を通じて、国際社会に貢献す る次世代をリードする若手研究者の育成
- ・欧州における京大ブランドの構築

## 活動概要



複合アニオン化合物の開拓で 世界を牽引

広範な合成技術と設備



·高圧合成

薄膜成長

メカノケミカル合成



工学研究科 & エネルギー科学研究科

継続的な国際会議の共催 エネルギー変換に関する

・特殊技術、コア施設の共同利用

革新的な無機材料の創製 ソフト化学発祥の地 10年以上にわたる学術・若手研究者交流 リアルタイム構造解析 国際シンポジウム共同開催 (2024)

- ASPIREプログラムで構築した修士課程 博士後期課程学生をお互いに指導する体制を拡張
- フランスから派遣された教授・CNRS研究員が JGP化学分野SGC所属の学生に対して講義
- 若手シンポジウムを起点とした定期ミーティング、 課題抽出および運営体制
- フランス側で学位を取得した若手を京大OSLで雇用 ⇒ 安定的な常駐を実現